

令和7年度（2025年度）

# グローバル ジュニアアドリーム事業



## 事業報告書

熊 本 県  
熊 本 県 教 育 委 員 会  
熊 本 県 青 少 年 育 成 県 民 会 議

## はじめに

「グローバルジュニアドリム事業」は、昭和54年の国際児童年を記念し実施された、沖縄県への派遣交流を活動内容とする「熊本県少年の船・友好の翼事業」を前身として始まりました。本事業の目的は、未来の熊本を担う肥後っ子に、台湾への派遣交流や「夢」についての講話を通して、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、郷土熊本に誇りを持ち、グローバルな視点から思いやりとたくましさを持った子どもを育成することです。

平成26年度から毎年、熊本県と熊本市が「友好交流協定」を結んでいる台湾高雄市へ約30人の団員を派遣してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は事業を中止、続く令和3年度、4年度はオンライン交流と県内プログラムを行い、令和5年度から台湾派遣を再開しました。本年度は、6年ぶりにホームステイを再開し、小中学生32人、高校生リーダー6人の合計38人を熊本青少年大使として、通算9回目の台湾派遣を行いました。

本研修では、高雄市の青少年たちとの交流をはじめ、ホームステイ、国立科学工芸博物館など高雄市内の名所の視察研修などを行い、台湾の方々の温かさや熊本との歴史的なつながりなど、直接肌で感じる良い機会になったと思います。ジュニアカーニバルでは、将来の夢について綴り、語ることで、夢実現とそれに向けた身近な目標が明確になったことでしょう。

この事業で、初めて出会った小学生から高校生までの仲間たちが行動を共にし、お互いに目的を持って助け合い励まし合うことで、自分自身を見つめ直し、自分の可能性を伸ばす良い機会になったことと思います。

今後、参加された団員の皆様が今回の研修で学んだことを生かしながら、それぞれの夢に向かって健やかに成長されることを期待しています。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力をいただきました高雄市政府教育局をはじめ、高雄市立中正高級中学校、中正小学校、関係の皆様方に心から御礼申し上げます。

熊本県環境生活部県民生活局くらしの安全推進課

課長 岸森 法夫

# 事業の概要

熊本県では、「子どもたちが夢を持ち、それに向かって挑戦することができる社会」をめざしています！

## 現代の子どもたちを取り巻く環境

- ・インターネット、ゲーム依存
  - ・家庭や地域の教育力の低下
  - ・地域交流の希薄化
- ↓
- ・コミュニケーション能力の低下
  - ・生活体験の不足

**グローバルジュニア  
ドリーム事業**  
「夢」についての講話や  
海外（台湾）での活動

## 期待できる効果

- ・自分の夢と可能性を考える機会
- ・日本、郷土熊本に対する誇り
- ・グローバルな視点から「生きる力」を身につける
- ・コミュニケーション能力の向上

### 事業の経緯

昭和54年から、熊本・沖縄両県の少年が相互に訪問し合い、交流を続けてきた。  
 （「熊本県少年の船 友好の翼」事業等）  
 平成21年度から、「夢」をテーマに県内での各種体験活動及び交流活動に、趣旨・内容を変更し実施。（「ジュニアドリーム」事業）

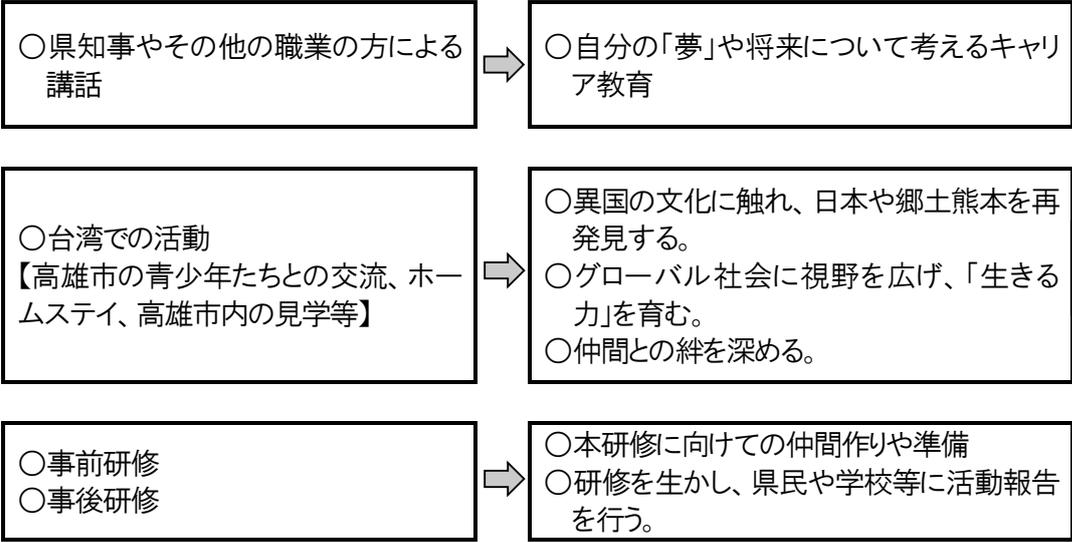
### 団の構成

- スタッフ  
県、教職員、県警職員、看護師等(9人)
- リーダー：県内の高校生(6人)
- 団員：県内の小学6年生～中学3年生(32人)

### 事業内容

台湾の高雄市、県、熊本市の3者で締結した「友好交流協定」における教育交流分野を具体化する事業として実施

本研修：7月30日(水)～8月3日(日)4泊5日 場所：台湾(高雄市)  
 事前研修会：7月19日(土) 事後研修会：8月23日(土)  
 (スタッフ・リーダー研修会：7月5日(土)及び7月26日(土))



未来の熊本を担う肥後っ子の育成

## 令和7年度（2025年度）グローバルジュニアドリーム事業の概要

### 1 これまでの経緯

本県では、昭和54年の国際児童年を記念して「熊本県少年の船事業」を開始し、後継の「熊本県少年友好の翼事業」「熊本県ジュニアチャレンジ事業」まで、沖縄県での体験・交流活動を行ってきた。

平成21年度からは、「熊本県ジュニアドリーム事業」として活動の場を県内とし、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、思いやりとたくましさを持った子どもの育成をめざして、様々な活動を行ってきた。

平成26年度から令和元年度まで、その活動の場を海外（台湾）に移し、より活動内容を充実させた「グローバルジュニアドリーム事業」を実施してきた。新型コロナウイルスの影響により令和2年度は事業を中止、令和3、4年度は台湾への派遣は中止したもののオンラインで高雄市との交流を実施、今年度は、6年ぶりにホームステイを再開し、9回目の台湾派遣となった。

### 2 募集・選考

県のホームページに掲載するとともに、県内の各学校に団員募集要項を配布し広報活動を行った。

定員を大きく超える応募があり、第1次選考（書類審査）、第2次選考（集団面接）を行い、団員32人を決定した。

また、団員の活動支援を行う高校生リーダーにも多くの応募があり、書類審査と面接選考の結果6人を決定した。

### 3 結団式・事前研修会（7月19日（土））

この日、初めて顔を合わせた団員は、緊張の面持ちで、結団式や台湾についての研修等に臨んだ。

結団式の後、熊本YMCA学院に在籍する台湾からの



留学生に講話をいただいた。台湾についての基礎的な情報に始まり、台湾グルメや日常会話について、時には笑いを交えて教えていただいた。クイズの場面では大盛り上がりで、正解者には台湾のお菓子をいただくなど、団員も楽しみながら学ぶことができた。

午後からの熊本青少年大使任命式では、くまモンが登場し、各団員様々な気持ちで任命書を受け取っていた。また、「知事へメッセージを作成しよう」と題し、本研修の意気込みなどを知事へ届けるために、各班で趣向を凝らしビデオメッセージを作成し、各団員それぞれが「知事への質問」を考えた。その後、本研修での役割決めや事後報告の方法についての研修と続いた。

### 4 本研修

（7月30日（水）～8月3日（日））

#### （1）1日目

阿蘇くまもと空港に集合し、出発式を行った。出発式では、1班松井理奈さんが団員代表挨拶を行い、保護者と別れて搭乗手続きを行い、高雄国際空港へと向かった。団員の中には、初めて飛行機に乗る団員もいたが、無事全員乗り込み熊本を後にした。



高雄国際空港到着後は、バスで移動し、まずは高雄市歴史博物館で高雄市の成り立ちや、日本との関わりについて学んだ。その後、ハワードプラザ高雄ホテルへチェックインし、1日目を終えた。

## (2) 2日目



建設中のTSMC高雄工場を車内から視察し、高雄市を代表する観光地、蓮池潭を訪れた。

蓮池潭では、塔から池全体の景色を見て仏教にまつわる壁画や台湾の文化について触れることができた。また、天気にも恵まれ展望台では、高雄市の全体を見渡すことができた。国立科学工藝博物館では、各班に台湾の大学生が案内役として同行し、高雄市の科学歴史や半導体について学んだ。その後、昼食の飲茶料理を大学生と一緒に食べた後、夢時代（ショッピングモール）に移動し、各班別行動にて、モール内の様々な場所を巡りながら大学生との交流を楽しんだ。

## (3) 3日目

本研修の主たる目的である台湾の青少年との交流会を行った。交流会の会場である高雄市立中正高級中学校には、近隣の中正小学校の生徒も集まっていた。歓迎の吹奏楽演奏、テコンドー及びダンスの披露に始まり、高雄市政府教育局を初め、関係各校の熱烈な歓迎を受けた。交流会では、



熊本県の代表が「ゆるキャラで学ぶ熊本の特産物」、「アニメで巡る熊本の観光地」を紹介した。また、高雄市側の紹介も聞くことができた。高雄市側の紹介では、すべて英語での発表で英語能力の高さがうかがえ

た。本県の紹介では、クイズ形式で熊本の魅力を披露し、会場は笑いに包まれる場面もあった。その後、英語やジェスチャーを使い、けん玉やだるま落としを通して交流を深めた。団員の中には、通訳を介さずにスマートフォンの翻訳アプリを使って意思疎通を図ったり、ジェスチャーをしながら会話をしたりする光景が見られた。昼食は一緒に弁当を食べ、午後からは校種毎に分かれて体験授業を受けた。小学生・中学1年生は親指ピアノカリンバ作成体験、中学2年・3年生は海洋ライト作成、高校生は原住民伝統舞踊体験をした。途中休憩では、全員にタピオカミルクティーが振舞われ、子ども達はリラックスして交流を深めた。最後に、「本日の交流会で学んだこと」の発表会をし、お別れとなった。

交流会を終え、いよいよホストファミリーマッチングレセプションが始まった。ホストファミリーが温かい笑顔で迎えてくれる中、団員たちの表情には緊張感が漂っていた。初めての体験に胸を高鳴らせ、これから始まる新しい生活への期待に満ちた眼差しが印象的だった。

## (4) 4日目

各団員は、朝からホストファミリーと行動を行い、ホテルへ帰宅した。言葉の壁にぶつかり、思うように伝えられなかった悔しさなどあったと思うが、ジェスチャーや翻訳アプリ、笑顔で乗り越えた1日であった。それぞれが異なる経験を積み重ね、心に深く刻まれた時間を過ごしてきた様子であった。ホテルでのホストファミリーとのお別れの際には、写真撮影などを行い、別れを惜しんだ。



夢未来予想図の発表では、皆で将来の夢について語り合い、レクレーションでは班で団結して活動を行い、大いに盛り上がった。

#### (5) 5日目

朝食後は高速鉄道で桃園駅に向かい、桃園国際空港へ。桃園国際空港でのくまモンイベントを見学後、出国手続きを行い、阿蘇くまもと空港へ飛び、無事家族の待つ熊本へ帰国した。空港へ到着すると保護者が笑顔で出迎えてくれた。解散式では、台湾で過ごした日々を振り返りつつ、仲間との旅の終わりを惜しんで解散した。

### 5 事後研修会（8月23日（土））

午前中は、本研修の学びを新聞形式にまとめたものを班の中で報告し、次に全体に向けて発表を行った。同じ行程を過ごした中で、団員それぞれが学んだこと、感じたことの発表を聞くことができた。保護者の方も、どのような本研修を過ごしたのか、熱心に耳を傾けている様子だった。

昼食をはさみ、木村敬熊本県知事からのビデオメッセージが披露され、熊本の秘めた可能性や熊本と台湾の関係性についての話があった。熊本から台湾に行くのに掛かる時間は、熊本から東京まで行くのとほとんど変わらないという話があり、台湾を身近に感じる事ができた。



その後、柔道でロンドンパラリンピック、東京パラリンピックに日本代表として出場された熊本県立盲学校教諭 平井孝明さんによる「夢」講話が行われた。『夢への挑戦』と題し、ご自身が経験されたロンドンパラリンピック、東京パラリンピックをもとに

夢への挑戦の大事さについてお話を聞くことができた。

講話の中で、メラニン色素欠乏症という病気を抱えながらも柔道と出会い、夢に向かって挑戦し続けた自身の経験を通して、「人と違っていてもいい」「できることに目を向けて努力すれば夢は叶う」「夢は一人では実現できない」というメッセージを子供たちに伝えた。パラリンピック出場という目標に向かってあきらめずに努力し続けた過程や、支えてくれた人々への感謝の気持ちを語ることで、子供たちが自分自身を肯定し、夢に向かって一歩踏み出す勇気が持てるようなお話だった。

その後、お別れ会で班ごとの思い出の品を作り、閉会とした。いつまでも名残はつきなかったが、それぞれの夢の実現と再会を誓い、解散した。

### 6 おわりに

本研修は、初めて海外へ行く団員も多い中、充実した5日間を過ごすことができた。高雄市の視察、現地の青少年との交流会、ホームステイ、ジュニアカーニバルと、年齢を超えて団員が協力することで、目的を十分に達成する研修となった。特に、高校生リーダーの事前の準備や研修における気配り、リーダーシップは、団員にとって大きな支えとなった。そして、全日程を無事に終わることができたのも、保護者や関係者の方々の温かい御支援と御協力のおかげだと思う。

互いに知らなかった子どもたちが打ち解け、仲良く過ごすことができたのは、本人たちの心がけはもちろんのこと、高校生リーダーやそれを支えた成人スタッフの力も大きかったように思える。

親元を離れ、海外で過ごした5日間は、団員にとってとても貴重な経験であり、本事業の目的を十分に達成し、青少年の健全育成に大いに貢献できたものと受け止めている。このような機会を次の世代にもつなげていきたいと切に思う。

## 令和7年度(2025年度)グローバルジュニアドリーム事業日程

研修	日付	内容	場所
事前研修会	7月19日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要説明</li> <li>・台湾からの留学生による講話</li> <li>・青少年大使任命式</li> <li>・知事へのビデオメッセージ作成</li> <li>・保護者説明会</li> </ul>	熊本県庁
本研修	7月30日(水) ~ 8月3日(日)	7月30日(水) <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本空港集合【8:15】</li> <li>・出発式</li> <li>・熊本空港→桃園国際空港(飛行機)</li> <li>・高雄市内視察(高雄市歴史博物館)</li> <li>・高雄市ホテルへ(バス)</li> </ul>	熊本市 高雄市ホテル泊
		7月31日(木) <ul style="list-style-type: none"> <li>・TSMC高雄工場 車内より視察</li> <li>・高雄市内視察(蓮池潭、鼓山展望台)</li> <li>・国立科学工芸博物館視察</li> <li>・夢時代 台湾大学生と散策</li> <li>・高雄市ホテルへ(バス)</li> </ul>	高雄市ホテル泊
		8月1日(金) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高雄市立中正高級中学校にて交流会(近隣の小学校も来校)</li> <li>・ホームステイマッチングレセプション</li> </ul>	ホストファミリー宅泊
		8月2日(土) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームステイ</li> <li>・ジュニアカーニバル</li> </ul>	高雄市ホテル泊
		8月3日(日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高雄左営駅から桃園駅へ移動(台湾高速鉄道)</li> <li>・桃園国際空港 → 熊本空港(飛行機)</li> <li>・熊本空港到着【17:40】</li> <li>・解散式後、解散</li> </ul>	高雄市 熊本空港
事後研修会	8月23日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修成果発表</li> <li>・「夢」講話 熊本県立盲学校 教諭 平井 孝明</li> <li>・お別れ会</li> </ul>	熊本県庁



高雄市歴史博物館



国立科学工芸博物館

# 本事業の様子



©2010熊本県くまモン





R7.7.19 ©2010 熊本県くまモン



R7.7.19 ©2010 熊本県くまモン



R7.7.19 ©2010 熊本県くまモン



©2010熊本県くまモン



本研修2日目  
高雄市内視察



©2010熊本県くまモン







©2010熊本県くまモン



## 開会行事



## 自己紹介・プレゼント交換



## 交流① だるま落とし・けん玉



## 交流② カリンバ作成体験(小学6年生・中学1年生)



### 交流③ 海洋ライト作成体験(中学2年生・中学3年生)



### 交流④ 原住民傳統舞踊体験(高校生)



## 交流⑤ まとめ・閉会



## ホームステイマッチングレセプション



本研修4日目  
ジュニアカーニバル



©2010熊本県くまモン



本研修5日目  
帰国・解散式



©2010熊本県くまモン





事後研修会  
本研修報告  
平井さん「夢」講話

©2010熊本県くまモン

